資料

福岡県におけるキョウト
ゴキブリの分布再確認

山本 英穂* 山崎 正敏* 玉田 幸生**

* 福岡県衛生公害センター環境生物課

(〒 818-01 福岡県太宰府市向佐野)

** 中和燻蒸株式会社

(〒 801 福岡県北九州市門司区東本町)

(受領：1984年10月4日)

Reaffirmation of the occurrence
of *Parcoblatta kyotensis* (Dyctio-
ptera: Blattellidae) in Fukuoka
Prefecture, KyushuHideho YAMAMOTO,* Masatoshi
YAMASAKI* and Yukio TAMADA*** *Biology Section, Fukuoka Environmental
Research Center, Mukosano, Dazaifu,
Fukuoka 818-01, Japan*** *Chūwa Fumigation Co., Higashi-
Honmachi, Moji-ku, Kitakyushu
801, Japan*Key words: Blattaria, distribution, Fukuoka,
Kyushu, *Parcoblatta kyotensis*.

Parcoblatta kyotensis Asahina, 1976 キョウトゴキブリは模式産地のほかに日本（本州，九州），韓国および台湾の各地から散発的ではあるが記録され，とくに名古屋では十数地点から多数採集され，定着・衛生害虫化しているようである（伊藤，1983）．しかし，九州における分布記録は福岡産の副模式標本以外にはなく，九州における本種の分布はかなり不確実であった．

今回，北九州市門司区から得られた標本を本種と確認できたので報告する．

標本データ

被検標本：2 ♀♀，成虫

採集場所：北九州市門司区西海岸通り，某穀物倉庫

採集日付：1984年8月10日

採集者：玉田幸生

検査結果

体長：1 ♀，16.5 mm；1 ♀，17 mm

被検標本は解剖し，*Parcoblatta kyotensis* Asahina の原記載および名古屋市衛生研究所に保持される本種の累代飼育系からの標本と比較した．被検標本のうち1 ♀の全影を Fig. 1 に，各器管の詳細を Fig. 2 に示す．小顎鬚，前脚腿節前下縁棘列，肛上板および肛下板の形状は原記載ならびに名古屋市衛生研究所累代飼育系標本と完全に一致した．

考察

朝比奈（1976）によれば，本種は模式産地京都では特定の箇所に着しているようであるが，他の被検標本の産地（新潟県粟島，福岡県福岡，石川県小木，神奈川県川崎；台湾，産地不明；韓国忠清南道鷄竜山）からは新潟県粟島（3 ♂♂）および韓国鷄竜山（2 ♀♀）以外いずれも1個体ずつが得られているだけである．その後，森山・伊藤（1978）は愛知県豊田市，安城市，名古屋市；岐阜県関市，下呂市；三重県四日市からの本種採集記録を報告し，さらに伊藤（1983）は名古屋市の13地点からの大量採集を報告して同市における本種の定着を明らかにした．

本種の福岡における記録は原記載で副模式標本の一つに指定されたものに基づくが，この九州大学農学部所蔵標本のラベルには産地を単に“Fukuoka”とだけしか記入されていないという（朝比奈，1976）から，その産地の詳細は不明であるし，また，その後本種が九州のどこから採集された例もない．したがって，従来キョウトゴキブリの産地として一般に福岡も挙げられてはいる（安富・梅谷，1983）が，九州における本種の分布はかなり不確実に思われた．しかし，今回，北九州市で本種の生息を確認することができた．この標本は前記地点の穀物倉庫屋上に設置したトラップにクロゴキブリ若虫とともに捕集された．なお，この穀物倉庫は主として東南

Fig. 1 One of the specimens examined.
Parcoblatta kyotensis Asahina ♀.
Data: Nishi-Kaigan-dori, Moji-ku,
Kitakyushu City, Fukuoka Prefecture,
Aug. 10, 1984, leg. Y. Tamada.

Fig. 2 Detailed structures of the female specimens examined, *Parcoblatta kyotensis* Asahina.

A: labial palpi ($\times 12.5$), B: maxillary palpus ($\times 12.5$), C: anteroventral setae of forefemur ($\times 15$), D: hindtarsus ($\times 10$), E: subgenital plate ($\times 7.5$), F: supraanal plate ($\times 7.5$).

アジア、アメリカから輸入したトウモロコシ、コーリヤン、大豆を貯蔵している。しかし、本種の既知の国外産地は韓国および台湾であること、また既知の国内分布状況および1♀だけではあるが過去に福岡からの記録があることから、上記標本は外来の搬入昆虫であるよりも、朝比奈 (1976) の示唆したように、当地においても土着昆虫である可能性が大きい。

本検査成績の公表を許可された福岡県衛生公害センター所長、高橋克己博士、同環境科学部長、野村稔氏に謝意を表するとともに、標本比較のためにキョウトゴキブリ累代飼育系の貴重な標本を多数提供していただいた名古屋市衛生研究所、伊藤秀子氏に深謝する。

引用文献

朝比奈正二郎 (1976): 日本産ゴキブリ分類ノート, IV. キョウトゴキブリ (新種新称) について. 衛

生動物, 27: 115-120.

伊藤秀子 (1983): 新しいゴキブリの家屋内侵入の可能性, キョウトゴキブリについて. 衛生動物, 34: 149.

森山海一, 伊藤秀子 (1978): 愛知・三重・岐阜の三県下に発生したキョウトゴキブリ. 衛生動物, 29: 73.

安富和男, 梅谷献二 (1983): 衛生害虫と衣食住の害虫, 310 pp., 全国農村教育協会, 東京.

Summary

Two females of strange cockroach were captured by the workers of Chōwa Fumigation Co. in a storehouse of Nishi-Kaigan-dori, Moji-ku, Kitakyushu City on Aug. 10, 1984. The rigid identification study on the insects showed that they were exactly identical with the paratype of *Parcoblatta kyotensis* Asahina. This finding lends a strong confirmation to the fact that *P. kyotensis* is distributed in Fukuoka Prefecture, Kyushu.